

令和3年度入試【総合型選抜Ⅱ】

小論文

(人間科学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は7ページです。解答用紙は4枚、下書き用紙は3枚です。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 解答は横書きとします。字数を指定したものは、句読点を字数に含めて数えてください。アラビア数字は2字で1字として計算してください。
- 5 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

人間科学部 小論文 問題

1

ある精神科医が記した震災におけるボランティアの役割に関する次の文章A、Bを読んで、問1～問3に答えなさい。

A

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

B

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典:^{あんかつまさ}安克昌(2020)「新增補版 心の傷を癒すということ—大災害と心のケア」作品社より一部改変)

注1) PTSD 外傷後ストレス障害(Post-Traumatic Stress Disorder)の略語。生死にかかわるような実際の危険にあったり、死傷の現場を目撃したりするなどの体験によって強い恐怖を感じ、それが記憶に残ってこころの傷(トラウマ)となり、何度も思い出されて当時と同じような恐怖を感じ続けるという病気。

- 注2) 中井久夫(1934-) 統合失調症や PTSD の研究で著名な精神科医。神戸大学名誉教授。筆者と共に阪神・淡路大震災において被災者の心のケアに携わった。
- 注3) ゲルトルート・シュヴィング(1905-1993) スイスの看護師、精神療法家。統合失調症患者への精神療法的関わりを手記にまとめた。
- 注4) 自助グループ 同じ問題をかかえる人たちが集まり、相互理解や支援をし合うグループ。依存症患者、自死遺族、犯罪被害者などによる自助グループがある。
- 注5) ビヴァリー・ラファエル(1957-) オーストラリアの災害精神医学者。被災者や遺族におけるストレス反応や心のケアの重要性について研究した。

問1

の文章において、筆者は「震災におけるボランティア」をどのようなものとして捉えているのか、筆者の意見に即して 120 字程度で説明しなさい。

問2

の文章を読んで「自助グループ」の価値や重要性について、200 字程度で説明しなさい。

問3

の下線部 A に書かれている「心の傷を癒すということ」について、、 に書かれている筆者の考えをふまえた上で、あなた自身が当事者および社会に対して寄与したいことについて、あなたの意見を 400 字程度で述べなさい。その際、筆者のどの考えを受けてそう思ったのかが分かるように、根拠を示しながら記述すること。

問1

図1は、平成20年に行われた「あなたの身長で、あなたが理想と考える体重はどれくらいですか」との問いに対する現在の身長(自己申告)と理想の体重の回答結果から、ヒトの肥満度を表す体格指数(BMI)を算出したものである。BMIが22になるときの体重が標準体重とされている。

理想として考える体型の年齢層による違いを、性別による傾向の相違についてもふまえた上で、120字程度で説明しなさい。

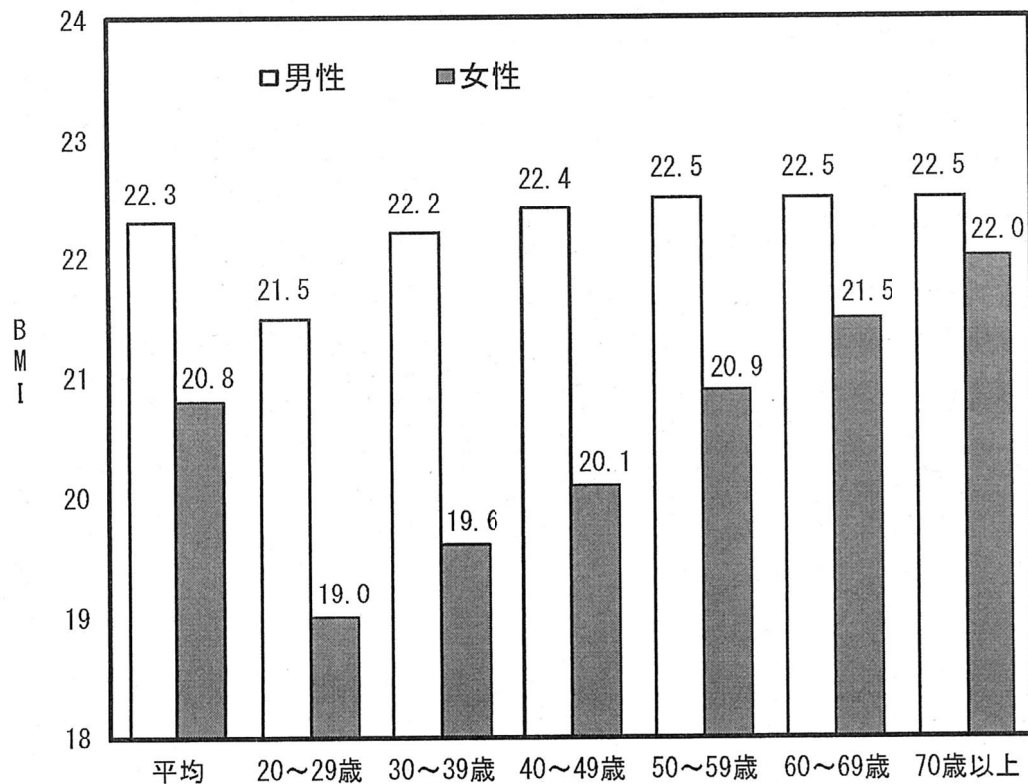


図1 理想のBMIの平均値

注：BMI(体格指数) = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))

(出典：厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」を改変)

問2

図2は、平成 20 年に行われた「体重を減らそうとする者の割合」に関するアンケート結果を年齢層別に調べたものである。

体重を減らそうとする者の割合は、性別でどのように異なっているのかを 80 字程度で説明しなさい。その際、性別による結果が大きく異なっている年齢層についても着目しなさい。

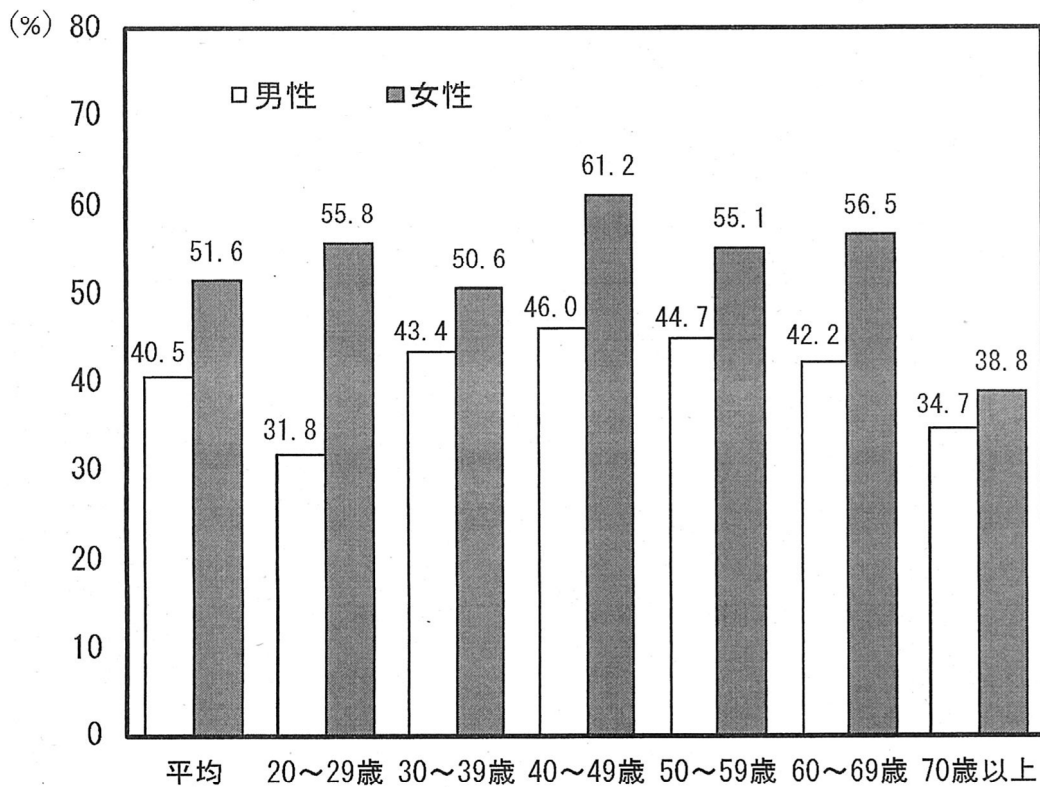


図2 体重を減らそうとする者の割合(%)

(出典：厚生労働省「平成 20 年国民健康・栄養調査」を改変)

問3

表1は、20歳代と40歳代の人に、「太っている」「少し太っている」と思う理由について回答してもらった複数回答形式^{注)}のアンケート結果である。40歳代男性の太っていると思う理由について、その特徴を20歳代男性や女性と比較して、140字程度で説明しなさい。

注) 複数回答形式とは、質問に対し選択肢の中から複数の回答を選ぶことが可能な形式

表1 「太っている」、「少し太っている」と思う理由(%)

理由		20歳以上の全年代の平均	20～29歳	40～49歳
男性	過去の自分と比べて	44.0	49.3	49.7
	他人と比べて	19.6	31.8	22.4
	家族や友人に言われて	20.5	24.3	25.3
	健康診断や病院で指摘	29.0	14.2	38.2
	身長や体重、体脂肪などから判断	36.1	31.1	36.8
	なんとなく	9.4	16.9	8.2
	その他	1.9	0.0	1.6
女性	過去の自分と比べて	47.2	34.9	59.3
	他人と比べて	29.9	45.7	33.9
	家族や友人に言われて	16.6	18.9	21.8
	健康診断や病院で指摘	20.2	6.9	19.2
	身長や体重、体脂肪などから判断	38.6	37.7	46.6
	なんとなく	10.8	16.0	8.5
	その他	3.0	3.4	2.8

(出典：厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」を改変)

問4

必要以上のダイエットを行ってしまう可能性が高いのは、「20歳代男性」「20歳代女性」「40歳代男性」「40歳代女性」のいずれのグループだろうか。該当すると考えられるグループを記載し、それを選んだ理由について、図1、図2、表1の結果に基づきながら160字程度で説明しなさい。